

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
平成 30 年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
微地形が泥流型土石流の水面形の変化に及ぼす影響の解明 (研究期間：H30 年度～R2 年度)	九州大学 准教授 水野 秀明	B
<p><研究概要></p> <p>土石流は、川幅の急縮や急拡、湾曲といった地形を通過する際、攪乱波やせきあげ背水を引き起こし、水面形を大きく変化させる。それによる氾濫を防ぐため、土石流導流工は地形の変化地点において十分な断面を有しないとけない。そこで、水面形の推定精度を向上させるため、鹿児島県で発生する、シルトや粘土を多く含む土石流のレオロジー特性を明らかにするとともに、水面形の簡易的な予測手法を開発することを目的とする。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>本研究では、石礫型土石流に比べて現状理論的に解明の進んでいない泥流型土石流について、現地調査や室内実験、土石流画像解析などから理論モデルを構築し、微地形が水面形の変化に及ぼす影響の解明を進めている。</p> <p>本研究の成果により、対策施設計画において施設配置位置や規模等、砂防施設的设计に活かすことが期待される。</p> <p>今後、計算手順、パラメータの与え方等について適用例を蓄積するとともに、他の流域での検証を行い、最終的には日本全体の活火山砂防にも適用できるように、泥流型土石流の普遍的なモデルとなることが望ましい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い